

## セット内容

組立前にセット内容をご確認ください。Nutube 6P1 は別売です。

### 1. クッション 1~3 (CUSHION1~3)

### 2. Nutube 変換基板 (PCB)

スペースを有効に使うために Nutube に合わせた最小のサイズの変換基板

### 3. ハーネス + コネクター (HARNESS+CONNECTOR)

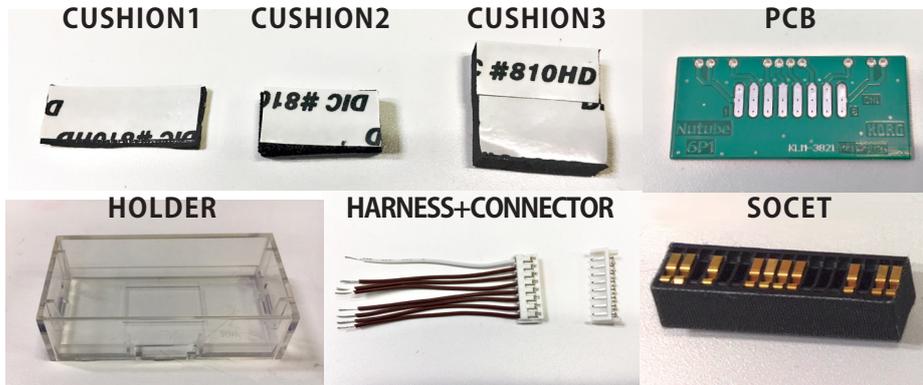
振動対策のため細い線材を使ったハーネスおよび 2.5mmピッチ・コネクター

### 4. 振動対策ケース (HOLDER)

Nutube のマイクロフォニックノイズを抑えるための専用ケース

### 5. Nutube ソケット (SOCET)

Nutube 専用ソケット

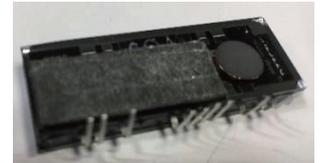


\* HOLDER は左右の爪の部分を開くと簡単に開きます。

## Nutube 変換基板の組み立て方

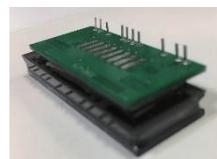
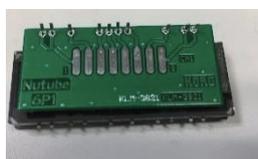
### 1. Nutube 裏側に CUSHION1 を貼り付けます。

CUSHION1 は Nutube 裏側の丸い部分にかぶらないようにします。



### 2. Nutube を基板の穴に差し込みクッションで基板と Nutube を固定します。

基板は表裏があるのでご注意ください。基板の中央にはんだ付け部分があるほうが裏側になります。



### 3. ハーネスを基板にはんだ付けします。ハーネスが隣同士接触しないよう確認ください。

Nutube の PIN が長い場合は PIN をカットしてください。

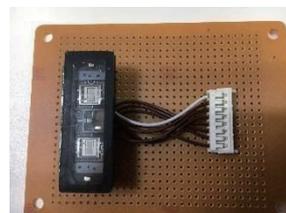


### 4. 変換基板の裏側に CUSHION2 を半分にカットして貼り付けます。

注意！ はんだ部分に CUSHION2 がかぶらないようにします。

### 5. 変換基板を取り付けたい基板に貼り付け、

コネクタ (CONNECTOR) をはんだで接続すれば完成です。



## 振動対策ケースの組み立て方

1~5. Nutube 変換基板の組み立て方と同じです。

6. HOLDER 下部に変換基板を貼り付けます。

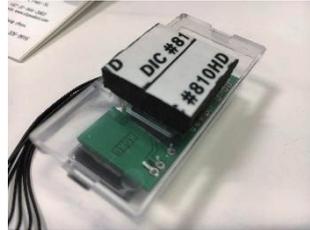
貼り付ける前に必ず Nutube の位置が中央になるよう確認してください。  
注意！ Nutube および基板が振動ケースに接触しないようにしてください。



7. HOLDER 上部をかぶせます。



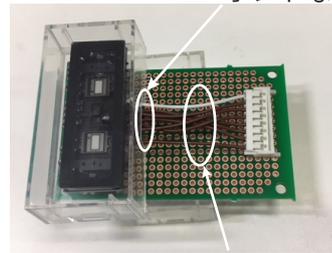
8. HOLDER 下部に CUSHION3 を貼り付けます。



9. 完成したケースを取り付けたい基板に貼り付け、コネクタを接続すれば完成です。

(ケースの開口部をボンドなどでふさぎ、ハーネスをテープなどで固定する事で、より振動の影響を受けにくくすることができます。)

ボンドなどで穴をふさぐ



テープ等で固定する

**振動対策ケースの効果** \*外部衝撃によるNutubeの出力レベルを測定。

	外部衝撃音(※1)	基板打撃(※2)
対策なし(※3)	+30dB	+42dB
対策ケースあり	+14dB	+3dB

※1...Nutubeのそばでアクリルケースを金属棒で叩いたときのレベル。

\*この時アクリルケースと金属棒がNutube及び周辺の部品に触れないこと。

※2...基板から約10cm上から金属棒を落とす。

※3...振動対策ケースを使用せず、Nutubeを基板に接触させて固定した状態。

## Nutube ソケットの使い方

Nutube 専用の抜き差しできる 2mm ピッチのソケットです。

Nutube を基板に直接はんだ付けしたくない場合になどに使用します。

変換基板にも取り付け可能です。ただし振動対策ケースと Nutube ソケットを同時に使用する事はできません。

